

(案)

第6期 西区自治協議会 成果と課題
(平成29年度～平成30年度)

西区自治協議会

委員編成

第6期 西区自治協議会 委員名簿

(順不同・敬称略)

氏 名	所 属	就 任 期 間
田村 信雄	内野・五十嵐まちづくり協議会 会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
寺瀬 千恵	西内野コミュニティ協議会 副会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
小林 邦太郎	コミュニティ中野小屋 副会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
高島 圭介	コミュニティ佐潟 副会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
小林 勉	坂井輪中学校区まちづくり協議会 副会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
○ 下川 照雄	坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会 会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
風間 一夫	東青山小学校区コミュニティ協議会 会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
沢田 富夫	五十嵐小学校区コミュニティ協議会 副会長	平成29年4月1日～平成30年3月31日
岩沢 孝金	五十嵐小学校区コミュニティ協議会 副会長	平成30年4月1日～平成31年3月31日
大谷 勇	真砂小学校区コミュニティ協議会	平成29年4月1日～平成29年6月30日
佐藤 昭	真砂小学校区コミュニティ協議会 会長	平成29年7月1日～平成31年3月31日
田中 米三	青山小学校区コミュニティ協議会 総務部会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
◎ 岩脇 正之	小針小学校区コミュニティ協議会 会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
大谷 一男	黒埼南ふれあい協議会 会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
浅妻 茂行	大野校区ふれあい協議会 副会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
○ 渡辺 美弥子	立仏校区ふれあい協議会 副会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
藤橋 雅廣	山田校区ふれあい協議会 会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
中原 勝芳	佐潟と歩む赤塚の会 会員	平成29年4月1日～平成31年3月31日
五十嵐 加代子	子育て応援サポートセンター うん♡まんま 代表	平成29年4月1日～平成31年3月31日
藤丸 圭子	西区民生委員児童委員会連絡会 幹事	平成29年4月1日～平成31年3月31日
木村 優子	西区社会福祉協議会 副会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
永吉 秀司	新潟大学 教育学部 芸術環境講座 准教授	平成29年4月1日～平成31年3月31日
嘉藤 稜子	新潟大学大学院 教育学研究科 学生	平成29年4月1日～平成30年3月31日
荒井 実	新潟大学 教育学部 学校教員養成課程 学生	平成30年4月1日～平成31年3月31日
藤田 美幸	新潟国際情報大学 経営情報学部経営学科 准教授	平成29年4月1日～平成31年3月31日
小林 直起	新潟国際情報大学 経営情報学部情報システム学科 学生	平成29年4月1日～平成31年3月31日
近藤 純子	西区PTA連合会 会員	平成29年4月1日～平成31年3月31日
古俣 民	西区老人クラブ連合会 理事	平成29年4月1日～平成31年3月31日
塩川 英男	新潟西商工会 会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
加野 麻理子	西区支え合いのしくみづくり会議 西区支え合いのしくみづくり推進員	平成29年4月1日～平成31年3月31日
渡邊 正友	元専門学校副校長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
鍋谷 總子	元小学校長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
高橋 伸絵	防災士	平成29年4月1日～平成31年3月31日
郷 扶二子	地域教育コーディネーター	平成29年4月1日～平成31年3月31日
坂井 修	公募委員	平成29年4月1日～平成31年3月31日
佐野 恭子	公募委員	平成29年4月1日～平成31年3月31日
三富 正典	公募委員	平成29年4月1日～平成31年3月31日
山川 豊子	J A新潟みらい 赤塚支店 女性部 部長	平成29年4月1日～平成31年3月31日
高橋 由紀子	新潟市スポーツ推進委員連盟西区協議会 会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日

◎・・・会長, ○・・・副会長

部会の構成及び構成員名簿

(部会長、副部会長、現委員、前委員の順に掲載・敬称略)

<通常部会>

第1部会

担当分野：防犯、防災、自然環境、住環境、その他西区自治協議会が定めるもの
所属委員：大谷 一男（部会長）、寺瀬 千恵（副部会長）、田村 信雄、高島 圭介、
小林 勉、下川 照雄、岩沢 孝金、佐藤 昭、古俣 民、渡邊 正友、
高橋 伸絵、三富 正典、沢田 富夫、大谷 勇

第2部会

担当分野：保健福祉、文化、教育、その他西区自治協議会が定めるもの
所属委員：郷 扶二子（部会長）、風間 一夫（副部会長）、田中 米三、渡辺 美弥子、
五十嵐 加代子、藤丸 圭子、木村 優子、近藤 純子、加野 麻理子、
鍋谷 總子、佐野 恭子、高橋 由紀子

第3部会

担当分野：農林水産業、商工業、交通、その他西区自治協議会が定めるもの
所属委員：塩川 英男（部会長）、浅妻 茂行（副部会長）、小林 邦太郎、岩脇 正之、
藤橋 雅廣、中原 勝芳、永吉 秀司、荒井 実、藤田 美幸、小林 直起、
坂井 修、山川 豊子、嘉藤 稜子

<特別部会>

プロジェクトチーム1

担当分野：自治協議会広報紙の編集・発行に関するもの
所属委員：鍋谷 總子（部会長）、佐野 恭子（副部会長）、寺瀬 千恵、大谷 一男、
渡辺 美弥子、五十嵐 加代子、小林 直起、三富 正典

プロジェクトチーム2

担当分野：西区アートフェスティバルの企画・実施に関するもの
所属委員：永吉 秀司（部会長）、渡邊 正友（副部会長）、風間 一夫、田中 米三、
浅妻 茂行、荒井 実、佐野 恭子、嘉藤 稜子

西区自治協議会（第6期）を振り返って

西区自治協議会会長 岩脇 正之

1 はじめに

人口減少や少子超高齢化が進む中、健康寿命延伸や防犯、防災対策など地域課題は多様化・複雑化しており、これまで以上に区民や行政と協働し、課題解決のために取り組んでいくことが重要となっています。

第6期西区自治協議会では、年4回の広報紙発行や区自治協議会提案事業を通して活動を発信し、地域団体との連携を深めながらさらなる活性化を目指し取り組みました。

今期の新たな試みとして、本会の場でも議論の活性化を図ろうと、「降雪時の支え合いの取組みを地域で広げる」ための話し合いを行い、課題解決に向けて多くのアイデアを出しました。

また、提案事業では、今期より公募事業を取り入れ、「地域カルテから始めるまちづくりワークショップ」など、提案団体と協働して事業を実施し、より効果的に課題解決を図りました。

2 取組内容・成果・課題

(1) 本会について

ア 「降雪時の支え合いの取組みを地域で広げる」ための議論について

行政からの報告が多くなりがちな本会の場でも、議論の活性化を図るため、地域課題について地域として何ができるか、話し合いを行いました。

平成30年1月の豪雪を受け、どのように「降雪時の支え合いの取組みを地域で広げる」か、本会で3回にわたり話し合いの場を設けました。

支え合いの大切さを伝える方法や地域のコミュニケーションづくり、若者に協力してもらう体制など多くのアイデアを出し合い、地域への情報共有を行いました。引き続き、課題解決のため議論を進めていきます。

イ 大学等での出張開催

区自治協議会の認知度向上に向けて、本会を新潟国際情報大学本校や黒崎市民会館で出張開催しました。新潟国際情報大学では、多くの学生から傍聴いただき、活動の一端を知っていただくことができました。また、開催地の地元委員からその地域の歴史や観光について話していただくことにより、各地域への

理解を深めることができました。

ウ 座席の工夫

本会の座席について、発言がしやすいよう島形式の導入や、口の字でも少し丸みを持たせるなどの工夫をしました。これにより、委員同士の顔が見やすくなり、より一層議論の活性化につなげることができました。

(2) 部会・提案事業について

ア 第1部会

第1部会は、防犯、防災、自然環境、住環境分野を所管する部会です。

第6期では、西区で発生した女子児童の傷ましい事件を受けて、各地域での見守りの現状や取組みについて意見交換を行い、通学路マップの提供要望などを行ったほか、防犯、防災、除雪、空き家対策など多岐にわたり議論を行いました。

また、どのような課題が潜んでいるのか、まずは現地を知ることが必要ということで、現地視察を行いました。新川河口排水機場や農地からの飛砂による被害など、現地を直接見ることにより、課題や対応状況についてより理解が深まりました。

提案事業では、地域における防犯、防災力向上につながる事業を実施しました。

(ア) 防犯と防災に関する講演会

区自治協議会の活動を発信するとともに、防犯・防災のテーマについて地域と共に考えるきっかけになるよう講演会を開催しました。

防犯については、多発している特殊詐欺被害に遭わないため、どのような対策をとればいいのか、新潟県防犯アドバイザーの三流亭楽々氏、心理学博士の碓井真史氏、そして新潟県警察本部の警視から講演をいただきました。

参加者からは、自分がいつ騙されてもおかしくないこと、1人で判断せずに誰かに相談することが大切などの気づきを学んでいただくことができました。

防災については、近年の異常気象に対する備えが重要となる中、どのようにして身を守るべきか、気象情報から読み取る防災のヒントを気象予報士の森田正光氏から講演いただき、区民の防災意識を高めることができました。

若い世代の参加者は少なかったですが、区自治協議会の広報紙に講演内容を詳しく掲載したことにより、内容を広く区民に周知することができました。

(イ) 防災カード作成・配布

自主防災力を高めるために、日頃から防災に関する情報に触れ、災害時に正しく対応するための情報が入手できるよう、対応の要点が記載された携帯

用のカードを区と協力して制作し、区内の各世帯に配布しました。

限られた紙面の中、必要な情報を可能な範囲で掲載するとともに、高齢者にも使いやすいよう、はさみを入れる線を太くし、切りやすくするなどの工夫をしました。

多くの方から携帯してもらうことが重要であり、防災訓練等で呼びかけを行いました。今後も繰り返し呼びかけが必要と感じました。

イ 第2部会

第2部会は、保健福祉、文化、教育分野を所管する部会です。

第6期では、提案事業として健康寿命の延伸につながる講演会や地域課題解決に向けた事業募集を行いました。

(ア) 幸齢いきいき講演会・健康寿命延伸に向けた講演会

人口減少・少子超高齢化の進展が、地域においても大きな課題となる中、平成29年度は、健康寿命の延伸や高齢者の生きがいづくりを促進し、活力あるまちづくりにつながるよう、NPO法人日本トレッキング協会会長の国井雅比古氏による講演会を開催しました。生きている素晴らしさへの気付きや、今後の暮らし方への参考になるとの感想が多くあり、有益な講演会とすることができました。

平成30年度は、引き続き健康寿命延伸に向けて、実践のきっかけとなるよう、朝食習慣の大切さや学習療法による認知症予防などについて、東北大学加齢医学研究所長の川島隆太氏による講演会を開催しました。生活習慣の改善や、脳トレを実施したいなどの感想が多くあり、幅広い世代の健康寿命延伸につながる講演会とすることができました。若い世代の参加者を増やすため、PR方法や、講演会以外の手法を検討する必要があります。

(イ) スポーツ鬼ごっこ普及啓発事業

子どもからお年寄りまで年代や性別を問わず、誰もが楽しめるスポーツとして広がりを見せている「スポーツ鬼ごっこ」について、平成29年度は、青少年の健全育成や多世代交流など、その多様な効果が発揮されるよう Oni Base Niigata と協働し取り組みました。

各地域においてスポーツ鬼ごっこの普及が促進されるよう、小学生対抗戦や地域イベントの企画運営スキル等の向上を目的とした研修会を実施したほか、西区Cupの開催結果がメディアに掲載されたことで、一般の方々にもスポーツ鬼ごっこの周知が図られました。

(ウ) 地域課題解決に向けた事業募集

平成30年度は、地域の状況を的確に捉え、課題解決に向けて一層きめ細か

に対応していくため、地域活動団体と区自治協議会が連携することでより高い効果が得られる事業を募集し、3つの事業を協働して実施しました。

急速に進む人口減少・少子超高齢化に対応するために、「地域カルテ」から始めるまちづくり“次の一歩”ワークショップセミナー、また、健康寿命の延伸を目的に「スポーツ鬼ごっこ」「カーリンコン」の大会や講習会を開催しました。

区自治協議会として各団体からの提案に助言を行うことで、いずれの事業もより効果的なものとなりました。今後も協働の要として、地域課題解決のため、ノウハウを持った地域活動団体と連携して取り組む必要があると考えます。

ウ 第3部会

第3部会は、農林水産業、商工業、交通分野を所管する部会です。

第6期では、区の魅力向上や賑わい創出に繋がる提案事業を実施したほか、区が実施する生活交通のニーズ調査について意見を述べ、より効果的な調査実施に繋がりました。

(ア) 西区特産物・観光地カレンダー事業

特産物をモチーフとしたキャラクターや特産物・観光地の写真で構成するカレンダーを作成し、区内だけではなく県外へも配布することで、区の魅力を発信しました。

キャラクターデザイン及びカレンダー全体の監修は、新潟大学の学生に依頼しました。掲載写真については、平成29年度は「今と昔の写真」を公募、平成30年度は高等学校写真部等の学生に撮影を依頼するなど、文教地区の特色を活かし住民とともに制作に取り組みました。

平成27年度から継続的に本事業に取り組んできた結果、区内はもとより、区外・県外へも区の特産物や観光地等を発信することができました。今後はノウハウを持った団体と協働するなど、これまでとは異なる手法や視点で区の魅力発信に取り組んでいく必要があります。

(イ) 商店街等活性化研究・実践事業

内野地域拠点商業地の活性化を図るため、平成28年度事業において、新潟大学、新潟国際情報大学へ委託し、研究・企画された「空き店舗の活用による地域の情報発信、交流の場の創出」「若者文化を取り入れた集客に繋がるイベントの定期開催」を基に実践・研究に取り組みました。

両大学の学生研究チーム、新潟西商工会青年部などの若手実働メンバーで構成される内野地域商店街活性化ワーキングチームとともに、空き店舗活用に捉われない情報発信手法の検討や、コスプレ、SNSなどの若者文化を取り入れつつ飲食店と連携したイベントに協働して取り組んだことから、地域の主体的な活動を誘発する仕組みが必要であることが分かりました。

平成30年度は、地域の主体的な活動を後押しするために活性化に資する事業提案を公募しましたが、十分な応募を得られなかったため、次年度はより積極的な広報を行う必要があります。

エ プロジェクトチーム1

プロジェクトチーム1は、広報紙の編集・発行を所管する部会です。

区自治協議会の活動を広く区民に周知し、認知度を上げる目的で、広報紙「西区を豊かに」を第6期中に8回発行しました。多くの方に読んでもらえるように、特集や連載企画を織り交ぜながら、手に取ってもらえる紙面づくりを心掛けました。

SNSに広報紙の記事を掲載することで、広報紙のホームページアクセス数の増加につなげることができたほか、クロスワードパズルを毎年新年号に掲載し、区自治協議会に対する多くの意見や感想を得ることができました。

今後も区自治協議会の認知度を高めるため、親しみやすい紙面づくりに一層努めていきます。

オ プロジェクトチーム2

プロジェクトチーム2は、西区アートフェスティバルの企画・実施を所管する部会です。

提案事業として「西区アートフェスティバル」を2回開催しました。西区で活動している音楽・芸能団体の発表や西区にちなんだ多様なアート作品の展示をし、西区の宝を発信・共有しました。

平成29年度（第5回）は、アートクロッシングにいがた実行委員会が主催する西区アートキャラバンに参画。流木アートや光の造形などの空間演出作品を、区内の公民館等に巡回展示する西区アートキャラバンを実施し、当日来場者だけでなく各地域の方々にアートの魅力を発信することができました。

平成30年度（第6回）は、新たに「アール・ブリュット作品」の展示を行い、障がいのある方に作品の発表機会を提供するとともに来場者の増加にもつなげることができました。

2回とも来場者アンケートにおいては、高い満足度と次年度に期待する声を多くいただきました。

来年度は第7回目となりますが、これまで以上に幅広い世代の方から来ていただけるよう、新規の企画を盛り込む等、内容を工夫する必要があります。

3 おわりに

西区自治協議会では、大学生から委員として関わっていただいておりますが、認知度向上のため、より多くの若い世代の方から区自治協議会の事業に参画いただき、

情報発信に取り組んでいきたいと考えています。

また、部会運営においては、様々な提案事業の企画・実施で大きな成果を得た一方で、地域課題について、十分な審議まで行き届かなかった部分があったことは課題として挙げられます。

来期は引き続き、地域課題の解決に繋がる事業を地域活動団体等から公募し、協働して行うことにより、事業の満足度向上と活動の効率化を図り、その分より多くの議論する時間をつくりたいと考えています。

第7期では、このような点を踏まえつつ、区と区民との協働の要としてさらなる活動の活性化が図られることを期待します。